

【2006年4月27日】先日定期検査をし、不良充填物が一箇所あったので治療を受け、その他は虫歯、歯周病ともになく、とても綺麗に磨かれていると言われたのですが、常に口の中で「味」が感じられたり、口臭が感じられます。

先日定期検査をし、不良充填物が一箇所あったので治療を受け、その他は虫歯、歯周病ともになく、とても綺麗に磨かれていると言われたのですが、常に口の中で「味」が感じられたり、口臭が感じられます。

Q

現在胃の調子も悪いようなこともありません。見た目では虫歯はありませんが、治療をしている歯も多いので、中のほうで虫歯になっていて口臭を感じたり、常に「味」が感じられるのでしょうか。

因みにハミガキは起床後、毎食後、就寝前、と口にもものを入れた際は必ずフロスも一緒に行い、歯ブラシも2種類使っています。勿論舌の汚れも取るようにしています。他人からは口臭を指摘されたことはありません。

臭いにたいしかなり敏感な方なので気になるのかもしれませんが、明らかに以前はありませんでした。これも加齢臭の一つなのでしょうか。お教え頂きたいです。

西新宿歯科クリニック 院長の武末秀剛です。

口臭で悩まれている方は決して少なくありません。その原因はある大学病院の98年～6年間に診察した約800人の患者による分析によると以下の割合です

- 34.8% 口腔内の問題(歯周病、口腔内疾病、口腔機能低下)
- 31.8% 舌苔など生理的現象
- 30.0% 問題になるほどの口臭ではない仮性口臭症
- 1.5% 全身の病気(副鼻腔炎など耳鼻科系の細菌感染、糖尿病)

A

つまり65%以上が口腔内に口臭の原因があるものの30%は問題とはいえないつまり本人のみが

気になっているものの病的でいレベルのものが含まれているのです。

口臭の原因物質は硫化水素などの揮発性硫黄化合物が大半で唾液や舌苔など口腔内にあるたんぱく質を細菌が分解し発生するのです。

この総量を測れるガスセンサーや原因成分を分析できるガスクロマトグラフィーで臭いを数値化できるのです。病院によってはこうして口臭の原因である揮発性硫黄化合物を測定する機械を備えてるところもあります。もしどうしてもきになるようなら口臭を専門に扱っている病院で徹底的に調べて見られるのもよろしいかもしれませんね。

また口腔内に原因がない場合の糖尿病、腎臓病についても以下にその特徴を記します。

《臭いの特徴》

糖尿病・・・少し甘く感じるアセトン臭

腎臓病・・・アンモニア臭

ここで申し上げておかなければならないのは、口の臭いは少しは誰でもあり、一般的に起床直後が最も強く昼食前、夕食前にもそれぞれ強くなる。口腔内を清潔に保てば口臭は大幅に軽減するということです。

一般的に言われてる対策としては、市販の舌ブラシや歯ブラシを使い舌苔を1日1回起床直後に磨くことから試してみる。それだけでずいぶん口臭は軽減されるはずです。

また、唾液の分泌量が減っても口臭は強くなるということは意外に知られていません。もしも加齢臭を気にされるとしたら、この唾液の分泌量の低下によるものも可能性としては考えられます。舌を思いっきり出し入れし左右に大きく動かす舌体操でも唾液の分泌量は増えるのでまずはお試し下さい。

【2004年4月17日】口臭が強くなったようで家族に指摘されたり、人と対面している最中に相手が鼻を押さえるようなしぐさをよくされます。

口臭と舌の上のできものについておたずねいたします。

Q 2年近く前から舌の上、ずっと奥のほうに赤いブツブツができています。内科や歯科医の先生に何度か聞いたのですがいつも「ああこれは問題ありません、心配ないです」としか言われません。

しかしその後口臭が強くなったようで家族に指摘されたり、人と対面している最中に相手が鼻を押さえるようなしぐさをよくされます。

期間も長いので気になります。よろしくお願い致します。

西新宿歯科クリニック 院長の武末です。

口臭には 1.生理的口臭 2.病的口臭 3.仮性口臭 と大きく三つに分類されます。

生理的口臭はアルコールやニンニクを食べた後に誰にでも起こりうる当然の物です。問題なのは病的口臭です。

A 口臭の原因が口腔内にある場合には歯周病や虫歯、不良充填物(適合の悪い金属など)、唾液の減少、場合によっては口腔癌などが主な原因です。

歯科で審査してもらって「以上無い」といわれたと言う事であればこれらの問題はないということでしょう。

舌の赤いぶつぶつというのは拝見してみなければなんとも言えませんが、ただ舌の表面には舌苔というやや粘り気のある物質が存在し、これが多すぎる場合にはそれが口臭の原因になっている場合もあります。

舌ブラシというものが市販されていますので試してみたいかでしょうか？

ただしやりすぎて出血させてしまったりすると逆効果ですので気をつけてください。

また、口腔外に原因がある場合もあります。呼吸器、消化器、耳鼻咽喉疾患や腎臓、肝臓に問題があることもあります。中でもよく見られるのが糖尿病によるものです。アセトン臭と呼ばれる独特の臭いがします。これらの検査もしてみるのもよいかもしれません。